

和歌山病院での実習を終えて



東本 究仁

今回ポリクリの一環として和歌山病院で2日間実習させていただきました。普段は大学病院で実習することがほとんどということもあり、実際に行かせていただく前から大変興味深い実習でした。

和歌山病院では実際に病棟内を見学させていただき、中でも結核病棟が印象的でした。自分のイメージでは結核病棟は他の病棟から離れたと場所にあり、どちらかという閉鎖的で暗いイメージを勝手に持っていたのですが、和歌山病院での結核病棟は他病棟からほとんど離れておらず明るい空間で、入り口は自動ドアのようなもので仕切られてはいましたがそれほど閉塞感は感じませんでした。結核病棟内の病室もとても清潔感があり患者の生活のしやすさについて非常に配慮されているように感じました。また感染が起こらないように病棟内を空気が陰圧などによってどのように流れているかなど器具を用いて視覚的に大変理解しやすく教えていただきました。

駿田先生には結核などについてスライドや質問を交えながら、ただの知識ではなく理屈に基づいた説明、教え方をさせていただき納得しながら学ぶことができました。

南方先生には胸部 X 線の読み方を原理を通して教えていただき、今まで漠然と見ていた X 線画像が以前に比べ、何を根拠にどの位置に何があるのか、どのように読んでいくのかがとてもわかりやすくなりました。

2日間という短い実習ではありましたが得るものの多い、大変充実したものとなりました。南方先生、駿田先生をはじめ、お忙しい中実習に携わっていただいた病院スタッフ皆様、本当にありがとうございました。